

曲目のご案内

カンタータといえば、生涯に200曲以上を作曲したバッハの作品が有名ですが、今回お聴きいただくのは、1815年、44歳のベートーヴェンが、ゲーテの2つの詩をもとに、合唱と管弦楽のために作曲したカンタータ「静かな海と楽しい航海」です。「静かな海」は、凪いだ海の恐ろしいほどの静けさを描き、「楽しい航海」では、やっと吹き始めた風に勇んで陸へ向かう船員たちの喜びを歌い上げます。その9年後に作曲された「第九」については、指揮者、田中良和さんの言葉を、あらためてご紹介しておきます。「ベートーヴェンは9つの交響曲を書いてきましたが、第九の第4楽章、バリトンのソロが出てきたところから最後まで、もう喜びでいっぱいです。音楽室に貼ってある肖像画のように怖い顔をして睨んでいるのではなく、にこにこ笑っているベートーヴェンを聴いていただけるはずですよ」

田中良和(たなかよしかず) 指揮

指揮を山田一雄、渡邊暁雄の両氏に、ピアノを松浦豊明氏に師事。東京藝術大学指揮科在学中の1979年、第14回東京国際音楽コンクール指揮部門で第1位を受賞し、注目を集める。東京藝術大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。H・M・ラーベンシュタイン氏に師事。以後1986年までベルリンを拠点に活躍した。1982年にはBBC主催ルパート指揮者コンクール特別賞を受賞。同年、ベルリン放送交響楽団(現ベルリン・ドイツ交響楽団)を指揮してデビュー。日本でもNHK交響楽団をはじめとする、ほぼ全ての国内プロ・オーケストラに数多く客演して、常に高い評価を得ている。

1987~89年、関西フィルハーモニー管弦楽団客演指揮者。1990年、広島交響楽団の音楽監督・常任指揮者に就任。1991年、広島交響楽団初の欧州公演で、ウィーン、プラハで開催された「広響国連平和コンサート」を指揮。清新な指揮ぶりと卓越した手腕により大成功に導いた。国際的なアーティストからの信頼も厚く、ゲルハルト・ヘッツェル、リン・ハレル、エマニュエル・アックス、五嶋みどりなどのほか、クラシック以外のミュージシャンとの協演も多い。2005年には台北市立交響楽団の定期公演を指揮。2007年には上海と南京で上海フィルを指揮。さらに2009年には上海交響楽団に招かれ、ブルックナーの交響曲第5番などを指揮して好評を博した。2008年1月から世田谷フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。



ソプラノ 山田 英津子



メゾソプラノ 菅有実子



テノール 安藤 英市



バリトン 黒田 博



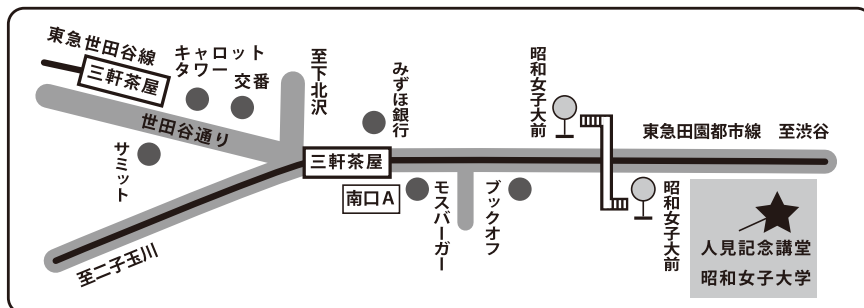
合唱指導 金川 明裕

世田谷フィルハーモニー管弦楽団

世田谷フィルハーモニー管弦楽団は、作曲家、故芥川也寸志氏の「世田谷区民によるアマチュアオーケストラを」という呼びかけに応じて、1989年3月、さまざまな職業の音楽愛好家によって結成されました。世田谷区の厚い支援を受け、同年12月に「せたがや区民による第九コンサート」で初演奏を披露。その後は、毎年春秋2回の定期演奏会を開催するほか、世田谷区民合唱団とともに「せたがや名曲コンサート」にも出演しています。また、ヴェルディ「椿姫」や團伊玖磨「夕鶴」、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」などのオペラ公演にも挑み、チャイコフスキー「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」などのバレエ公演も開催しています。音楽監督は、2008年1月から田中良和氏。最近の定期演奏会の主なプログラムは以下の通りです。ベートーヴェン「交響曲第3番《英雄》」、ブラームス「交響曲第4番」、チャイコフスキー「交響曲第5番」、ラフマニノフ「交響曲第2番」、ベートーヴェン「交響曲第7番」、ストラヴィンスキー「火の鳥」、シベリウス「交響曲第2番」、ブラームス「交響曲第3番」、レスピーギ「ローマの松」、メンデルスゾーン「交響曲第4番《イタリア》」、ムソルグスキー～ラヴェル「展覧会の絵」など。

世田谷区民合唱団

世田谷区民合唱団は、故芥川也寸志氏の提唱で1989年に設立され、23年目を迎えました。団員は世田谷区に在住、在勤、在学する合唱愛好者、約150名です。ベテランから初心者まで、楽しみながらも高いレベルの合唱を目標に練習に励んでおり、区民の皆様にも愛される合唱団を目指しています。毎年、定期演奏会を開催するかわら、区内外のコンサートにも数多く出演し、今年も世田谷区の友好都市である宮古島市での合唱祭にも参加しました。また「せたがや名曲コンサート」などで世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民吹奏楽団と共演しています。創立10周年、15周年、20周年には、世田谷区の海外姉妹都市である、ウィーンのドゥーリング区、オーストラリアのバンバリー、カナダのウィニペグで国際親善にも努めてきました。25周年には再びウィーンでの交流を計画しています。最近の演奏曲には、シューマンの「ミサ曲ハ短調」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、リスト「モテット集」等のクラシックのほか、合唱組曲「心の四季」、「美空ひばり作品集」、童謡メドレー「いつの日か」など、親しまれている日本の作品があります。今後は、創立25周年に向けて、ヘンデルの「メサイア」に挑戦する予定です。



昭和女子大学人見記念講堂

交通のご案内

東急田園都市線「三軒茶屋駅」南口A出口 徒歩7分

東急世田谷線「三軒茶屋駅」 徒歩10分

東急・小田急バス「昭和女子大前」 徒歩1分